

2005年3月10日
日興コーディアル証券株式会社

女性に「豊かな人生のための投資」をご提案する企画部署を新設

- エクシーズ (Xshe 's) 事業室 -

日興コーディアル証券株式会社(本店：東京都千代田区、取締役社長：有村純一)は、2005年3月10日付けで、幅広い層の女性を対象に、「豊かな人生を送るための投資」に関する情報やサービスを企画しご提供する専門部署「エクシーズ(Xshe 's)事業室」を新設いたしました。

「エクシーズ(Xshe 's)」の「X」は、学生から職業人、家庭人まで、あらゆる層の「女性(she)」が持つ、「一個人」そして「投資家」としての「未知なる可能性」を象徴しています。エクシーズ事業室は、個人のお客様を対象としたマーケティングや企画を行うリテール事業推進部の中に設置。当初は、個人向け国債等の金融商品のマーケティングや、営業、女性向け投資セミナー企画の分野で経験豊富な社員など、女性8名で稼働します。同事業室は、当社が2003年にいち早く開始しご好評の、全国の証券取引所と共催の「女性のための投資セミナー」に加え、投資に関する異なる知識レベルや、女性ならではの関心に対応する新たな趣向の催事等を通じ「女性が投資に「踏み出す」ために役立つ情報やサービスをご提供してまいります。

当社では、従来より女性と投資のつながりを重視し、異なる部署で独自に女性対象のセミナーなどを実施していました。このたび、人材とノウハウを新設のエクシーズ事業室に集約し、より充実したサービスをご提供できる体制を整えました。日興コーディアル証券は、多様な価値観とライフスタイルを持つ現代の女性に、それぞれのライフステージに応じ、自己実現と豊かな人生のために重要となる「投資」について、身近に楽しくお考えいただける機会を幅広くご提供してまいります。

貯蓄から投資へ」 -- お金を働かせる」という意識

「お金」をめぐる社会的な状況は、近年、大きく変化しています。日本でも、2001年から従来の「確定給付型」の年金制度に加え、積立金の運用成果に応じ将来の給付額が決まる「確定拠出年金」の導入が始まりました。また、2002年に始まったペイオフ導入も、今年4月から全面解禁を控えています。個人の「将来の経済的な備え」は、国や勤務先から「与えられる」もの、また、「金融」と「貯蓄」が同義であった時代は、大きな転換点を迎つつあります。

男女にかかわらず、一人ひとりの「個人」が自分の生活設計を立て、自らの責任において「お金」の運用先を選び、「リスクとリターン」を理解した上で、自分のお金に「いかに市場で働いてもらうか」を考える自立意識を求められる時代になったと考えられます。

投資教育のパイオニア、女性に向けて情報発信

日興コーディアルグループでは、かねて、日本でも一般の方々「フィナンシャル・リテラシー（金融知力：お金に関する知識・理解力）」の向上のための「投資教育」が重要であると考え、金融サービス企業の社会的責任という観点から、2001年より全国の大学への寄付講座を提供しています。また、1985年の雇用機会均等法の制定を機に女性の働き方に選択肢が増え、女性にとっても「お金」や「経済」、「投資」が、より身近な問題になったことに着目し、2003年夏からいち早く全国5箇所（注）の証券取引所との共催等により「女性のための投資セミナー」（無料）を開催しています。同セミナーの今年3月末までの開催数は累計51回、参加者数は約7,000人に登ります。

日興コーディアルグループの一員、コーディアル・コミュニケーションズ株式会社が今年1月にインターネットで実施した「働く独身女性の『お金』意識調査」（対象：首都圏・関西在住 25-44歳の女性 1,000人）でも、年齢層、年収カテゴリーを問わず「今、もっとも関心があること」の1位は「お金」（71%）と2位の「健康」（61%）を上回っています。一方、「投資」のイメージについては88%が「カッコいい」、74%が「おもしろい」と答えながら、92%が「難しい」と感じている傾向も明らかになりました。

近年、単身者も既婚者も、女性の社会・経済とのつながりはいっそう強まっており、女性も「個人」として、自己実現が可能な豊かな人生を送るために、長期的な視野で「お金」の運用を考えることが必要となっています。日興コーディアル証券は、エクシース事業室新設を機に、そのような女性を応援する情報やサービスの提供をより積極的に行ってまいります。

注：札幌、大阪、東京、名古屋、福岡

以上